

団体名	紀南病院組合
会計名	紀南病院組合病院事業会計

⑤ 公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	3,792	3,530	3,296	3,068	2,905	4,161
実績(見込)値1(B)	3,787	3,541	3,282	3,051	2,893	
経済危機対策影響額 (C)						
実績(見込)値2(D) (B-C)	3,787	3,541	3,282	3,051	2,893	
乖離値1(E) (A-B)	5	▲11	14	17	12	1,268
乖離率1(F) (E/A)	0.1%	-0.3%	0.4%	0.6%	0.4%	30.5%
乖離値2(G) (A-D)	5	▲11	14	17	12	1,268
乖離率2(H) (G/A)	0.1%	-0.3%	0.4%	0.6%	0.4%	30.5%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
合計						

(iii) 実績(見込)値1が計画目標値に届かない理由

平成20年度起債予定医療機器整備事業に追加を行ったため。
(平成20年度診療報酬改正により、高精細モニタを購入し完全フィルムレス化を行わなければ、年間約660万円の収入減が見込まれたため)

(iv) 改善に向けた取組み及び今後の見通し

計画額を厳守することで、平成21年度からは目標値どおり推移する見込みです。
医療機器購入にあたり、必要性や採算性の十分な考慮・検討が必要と考えます。

団体名	紀南病院組合
会計名	紀南病院組合病院事業会計

③ 職員数

(i) 推移表

(単位:名)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	平成21年度 計画目標値
計画目標値(A)	320	328	327	326	324	327
実績(見込)値(B)	316	308	315	318	319	
乖離値(C) (A-B)	4.0	20.0	12.0	8.0	5.0	8.0
乖離率(D) (C/A)	1.3%	6.1%	3.7%	2.5%	1.5%	2.4%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響人数(単位:名)					備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
合計						

(iii) 実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

(iv) 改善に向けた取組み及び今後の見通し

団体名	紀南病院組合
会計名	紀南病院組合病院事業会計

④ 改善額

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	-	52	37	37	32	158	11
実績(見込)値(B)	44	6	27	63	51	191	
乖離値(C) (B-A)	44.0	▲46.0	▲10.0	26.0	19.0	33.0	180.0
乖離率(D) (C/A)	#DIV/0!	-88.5%	-27.0%	70.3%	59.4%	20.9%	1636.4%

(ii) 要因分析

改善額合計の 未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計	
合計						-	

(iii) 実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

- 常勤医師不足による患者減
泌尿器科、脳神経外科、神経内科、耳鼻咽喉科の医師撤退・開業により外来診療の縮小(週一回の非常勤医師での対応)、入院診療の受け入れ中止。その他の診療科においても、医師数減により、過重労働回避の施策として初診外来診療の一部制限、休診日を設ける等、患者数の減少が大きな理由となっている。
- 平成20年7月開始予定であったDPC請求が厚労省・中医協の方針変更(準備期間2年以上となる)により平成21年4月開始と遅れが生じたため。

(iv) 改善に向けた取組み及び今後の見通し

- DPCの検証強化によって診療単価の向上を図り、医業収益を増収させる(計画当初見込の3%増)、材料費等の費用削減を行う。
- 医師不足解消させ、患者数増加に伴う診療収入の増を見込むため医師確保対策の、より積極的な強化を行う。
 - ・大学病院、県を中心に医師派遣陳情
 - ・郷土出身医師への赴任の要請、郷土出身医師確保のため学校と連携し中長期的な医師育成の取り組み
 - ・インターネット媒体での呼びかけ
 - ・地域医療研修センター開設に伴い受け入れ研修医を戦力として育成する体制づくり
 等の活動を行うことにより、若干ではあるが公募医師の採用、一部診療科で大学病院からの派遣再開に至っている。

団体名	紀南病院組合
会計名	紀南病院組合病院事業会計

⑥ 累積欠損金比率

(i) 推移表

(単位:%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	-	-	-	-	-	-
実績(見込)値(B)	2.4	8.3	5.8	7.1	6.6	-
乖離値(C) (A-B)	▲ 2.4	▲ 8.3	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 6.6	▲ 6.6
乖離率(D) (C/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

(ii) 要因分析

(単位:百万円、%)

	計画最終年度(平成23年度)	
	計画目標値算出時(A)	実績見込値算出時(B)
分母(営業収益等)	3,993	3,676
分子(累積欠損金)	-	244
累積欠損金比率	-	6.6

分母悪化要因

(単位:百万円)

要因	影響額(百万円)	備考
外来診療の一部制限	250	大学病院の医師の引き揚げに伴うもの。公募採用常勤医師の開業・退職
入院患者受入れの一部中止	83	大学病院の医師の引き揚げに伴うもの。公募採用常勤医師の開業・退職
合計	333	

分子悪化要因

(単位:百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因
	計画目標値(A)	実績見込値(B)		
平成19年度	38	▲ 237	275	大学病院派遣常勤医師撤退
平成20年度	24	▲ 273	297	大学病院派遣常勤医師撤退 公募採用常勤医師開業・退職
平成21年度	145	▲ 203	348	大学病院派遣常勤医師撤退 公募採用常勤医師開業・退職
平成22年度	178	▲ 70	248	大学病院派遣常勤医師撤退 公募採用常勤医師開業・退職
平成23年度	135	10	125	大学病院派遣常勤医師撤退 公募採用常勤医師開業・退職
合計			1,293	

(iii) 実績(見込)値が計画目標値に届かない理由

○常勤医師不足による患者減
泌尿器科、脳神経外科、神経内科、耳鼻咽喉科の医師撤退・開業により外来診療の縮小(週一回の非常勤医師での対応)、入院診療の受け入れ中止。その他の診療科においても、医師数減により、過重労働回避の施策として初診外来診療の一部制限、休診日を設ける等、患者数の減少が大きな理由となっている。

○平成20年7月開始予定であったDPC請求が厚労省・中医協の方針変更(準備期間2年以上となる)により平成21年4月開始と遅れが生じたため。

(iv) 改善に向けた取組み及び今後の見通し

○DPCの検証強化によって診療単価の向上を図り、医業収益を増収させる(計画当初見込の3%増)、材料費等の費用削減を行う。

○医師不足解消させ、患者数増加に伴う診療収入の増を見込むため医師確保対策の、より積極的な強化を行う。

- ・大学病院、県を中心に医師派遣陳情
 - ・郷土出身医師への赴任の要請、郷土出身医師確保のため学校と連携し中長期的な医師育成の取り組み
 - ・インターネット媒体での呼びかけ
 - ・地域医療研修センター開設に伴い受け入れ研修医を戦力として育成する体制づくり
- 等の活動を行うことにより、若干ではあるが公募医師の採用、一部診療科で大学病院からの派遣再開に至っている。

団体名	紀南病院組合
会計名	紀南病院組合病院事業会計

⑦ その他

(i) 計画及び執行状況の公表状況

平成22年3月 紀南病院組合議会定例会にて進捗状況を報告後、ホームページ上にて公表

(ii) 計画及び執行状況の議会への説明

平成22年3月 紀南病院組合議会定例会にて進捗状況を報告後、ホームページ上にて公表